

解説 1

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

□ 関係代名詞とは、文を名詞節に変換するときに使われる、that, which, who などの代名詞のこと。

□ できた名詞節の冒頭の名詞（名詞節の中心となる名詞）を〈先行詞〉という。

□ 先行詞が、もとなる文の主語にあたる時の関係代名詞を〈主格〉、

目的語にあたる時の関係代名詞を〈目的格〉という。

□ ^(S)The cat broke ^(O)the vase yesterday. 「ネコが昨日、花瓶を割った。」－①

①の文を、主語（S）を先行詞とする名詞節に変換（主格の関係代名詞）

→□ the cat **which / that** broke the vase yesterday 「昨日花瓶を割ったネコ」－②

①の文を、目的語（O）を先行詞とする名詞節に変換（目的格の関係代名詞。省略されることもある。）

→□ the vase (**which / that**) the cat broke yesterday 「昨日ネコが割った花瓶」－③

【重要】関係代名詞による名詞節は、名詞なので、そのまま文の主語・目的語・補語になれる。

→□ Now my wife is scolding ^(O)the cat **which** broke the vase yesterday.

「今、私の妻は、昨日花瓶を割ったネコを叱っている。」 ※②の名詞節を目的語に組み込んだ例。

→□ This is ^(O)the vase the cat broke yesterday.

「これが、昨日ネコが割った花瓶である。」 ※③の名詞節を補語に組み込んだ例。

A 演習 1：基本問題 各文を、下線部を中心とした名詞に変換しなさい。

例 彼女はその本を1時間で読んだ。「彼女が1時間で読んだその本」1. そのコンサートは多くの観衆を魅了した。

「

2. そのコンサートは多くの観衆を魅了した。

「

3. その医者は毎年多くの患者を治す。

「

4. その医者は毎年多くの患者を治す。

「

5. I bought a book yesterday.

(名詞節に変換し、その日本語訳も書きなさい)

「

演習 1：解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. 「多くの観衆を魅了したそのコンサート」 ※文ではないので句点（。）は不要。下線部は文の主語にあたる。

2. 「そのコンサートが魅了した多くの観衆」 ※下線部は文の目的語にあたる。

3. 「毎年多くの患者を治すその医者」 ※下線部は文の

主語にあたる。

4. 「その医者が毎年治す多くの患者」 ※下線部は文の目的語にあたる。

5. a book (which/that) I bought yesterday

「私が昨日買った本」 ※下線部は文の目的語。

解説 2

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- 先行詞が人以外を表すとき、関係代名詞は which か that を使う（解説 1 参照）。
- 先行詞が人を表すとき、関係代名詞は who か that を用いる。
- a friend **who / that** has three sisters 「3 人の姉妹がいる友人」（主格）
 - the person (**whom / that / who**) I respect 「私が尊敬する人」（目的格、省略可）
- ※文法的には目的格の whom が正しいが、慣用的に主格の who も使う。
- which と that にも主格と目的格があるが、who—whom と違って、形が変わらないだけ。
- 関係代名詞が目的格でも、〈前置詞 + 関係代名詞〉となる場合には省略できない。
- I wanted to work with the person. 「私はその人と一緒に働きたかった。」 - ④
- ④の文を、the person（前置詞 with の目的語）を先行詞とする関係代名詞を使って変換
- □ the person (**whom / that / who**) I wanted to work **with** - ⑤
- □ the person **with whom** I wanted to work - ⑥
- どちらも「私が一緒に働きたかったその人」と訳せる。
- ※前置詞 with の位置を動かさない ⑤ の場合、関係代名詞は目的格として省略可。
- 〈前置詞 + 関係代名詞〉の語順にする ⑥ の場合、省略不可（硬い表現）。
- なお、〈前置詞 + 関係代名詞〉の形では、関係代名詞 that は使えない。

B

演習 2：基本問題

下線部を先行詞とする名詞節に変換し、さらにそれを日本語に訳しなさい。

1. She read
- the book
- in an hour.

「
.....
」

- 2.
- Someone
- called me at four in the morning.

「
.....
」

3. I saw
- a stranger
- in the school building today.

「
.....
」

4. He wrote the novel with
- the pen
- .

「
.....
」

演習 2：解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. the book (which/that) she read in an hour 「彼女が 1 時間で読んだ本」 ※ the book は人以外なので関係代名詞は which か that。目的格なので省略するとよい。
2. someone who/that called me at four in the morning 「朝の 4 時に私に電話してきた誰か」 ※ someone は人なので関係代名詞は who か that。主格なので省略はできない。
3. a stranger (whom/that/who) I saw in the school building today 「私が今日、校舎内で見えた見慣れない人」 ※ a stranger は人なので関係代名詞は whom か that が原則。目的格なので省略してよい。
4. the pen (which/that) he wrote the novel with または the pen with which he wrote the novel 「彼がその小説を書いたペン」 ※ the pen は人以外なので関係代名詞は which か that。目的格なので省略してよい。〈前置詞 + 関係代名詞〉の with which を続けても可。

年 組 番 氏名

実施日

年

月

日

A	/5
B	/4

検印

解説 3

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- もとの文の主語や目的語が何かわからないものの場合、
先行詞を要さない関係代名詞 what を使って名詞節をつくることができる。
- 関係代名詞 what は something which/that とほぼ同じ意味で、「～もの、～こと」と訳せる。

- ^(S)Something happened to her. 「何かが彼女に起きた。」 - ⑦
□ She should do ^(O)something. 「彼女は何かをするべきだ。」 - ⑧

⑦の文を、主語 (S) を先行詞とする名詞節に変換 (主格の関係代名詞)

→ □ something which / that happened to her 「彼女に起きた何か」

関係代名詞 what を用いて、さらに変換

→ □ what happened to her 「彼女に起きたこと」 (※ what も主格)

⑧の文を、目的語 (O) を先行詞とする名詞節に変換 (目的格の関係代名詞。省略可)

→ □ something (which / that) she should do 「彼女がするべき何か」

関係代名詞 what を用いて、さらに変換

→ □ what she should do 「彼女がするべきこと」 (※ what も目的格)

C 演習 3：基本問題

英語は日本語に、日本語は what を用いて英語に、訳しなさい。

1. what people say
「」
2. what brought you here
「」
3. what you can do to make the world a better place
「」
4. What you see is what you get.
「」
5. 彼女が好きなもの

.....
6. あなたが好きなものを私に教えてください。

.....

演習 3：解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- | | |
|--|--|
| <p>1. 「人々が言うこと」 ※動詞 say の目的語を表す関係代名詞 what (目的格)。</p> <p>2. 「あなたをここに連れてきたもの」 ※動詞 bring の主語を表す関係代名詞 what (主格)。</p> <p>3. 「世界をよりよい場所にするためにあなたができること」
※ what は動詞 do の目的語を表す。make O C 「O を C にする」(第 5 文型)。to 不定詞は副詞的用法。全体は文ではなく、SV 構造を中心とする名詞節である。</p> <p>4. 「あなたが見るものはあなたが手に入れるものだ。(→あなたが見たままだ)。」 ※ 2 つの関係代名詞 what はそれ</p> | <p>ぞれ、動詞 see と get の目的語 (目的格)。What you see は文の主語で、what you get は補語で、どちらも名詞節。</p> <p>5. what she likes ※三単現の -s を動詞に付けるのを忘れないこと。</p> <p>6. Please tell/show me what you like. または Please let me know what you like. ※ 5. を参考に名詞節を作り、「私に教えてください」の英文の目的語部分に、それを組み込む。please は文末でもよい。</p> |
|--|--|

D 補充演習 1：基本問題 英語は日本語に、日本語は英語に、それぞれ訳しなさい。

1. Some islands which belong to Japan sometimes cause international problems.
「
」
2. Is the book you are reading last year's bestseller?
「
」
3. I saw the keys you are looking for on the couch in the living room.
「
」
4. Do you have something that I can write on?
「
」
5. What is important to you is also important to me.
「
」
6. She doesn't care what other people say about her.
「
」
7. 私の母が先週買った車の色は白だ。
.....
8. あなたがここで見たことは誰にも言わないでください。
.....

補充演習 1：解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. 「日本に属するいくつかの島は、ときどき国際問題を引き起こす。」 ※主語は Some から Japan までの名詞節。
 2. 「あなたが読んでいる本は去年のベストセラーですか。」
※ the book と you の間に目的格の関係代名詞 which/that が省略されている。第 2 文型 (SVC) の疑問文なので、主語と補語の境目 (last の前) を正しく把握する。
 3. 「あなたが探しているカギを、私は居間のソファの上で見た。」 ※ the keys と you の間に目的格の関係代名詞が省略されている。先行詞の the keys は looking for 「探している」に続く、前置詞の目的語。
 4. 「私が何か書けるものを持っていますか。」
※ something that I can write on で「私がおの上に書ける何か→(紙などの)何か書けるもの」となる。on を with にすると「私がそれを使って書ける何か→(ペンなどの)何か書くもの」となる。
 5. 「あなたにとって大切なものは、私にとっても大切だ。」
.....
- ※主語は What is important to you 「あなたにとって大切なもの」。what は先行詞を必要としない関係代名詞で、「～もの、～こと」と訳せる。
6. 「彼女は他人が彼女について言うことを気にしない。」
※ what other people say about her 「他人が彼女について言うこと」が動詞 care の目的語になっている。
 7. (The color of) The car (which/that) my mother bought last week is white. ※日本語の主語の中心は「色」だが、単に「車」としても内容に問題はない。
 8. Please don't tell anyone/anybody what you saw here. または Please tell no one [nobody] what you saw here. ※ tell O1 O2 「O1 に O2 を言う」。日本語の「あなたがここで見たことは」は主語ではなく「言う」の目的語。日本語の助詞に惑わされず、文の要素を正しく把握する。動詞で否定せず、目的語に否定語の no one [nobody] 「誰も (誰にも) ～ない」を使ってもよい。

年 組 番 氏名

C /6

検印

実施日 年 月 日

D /8

解説 4

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- 関係代名詞は、先行詞が人のときは **who** または **that**、人以外のときは **which** または **that** を使う。
- 先行詞があいまいで、限定する（絞り込む）必要性が高いとき、**that** を好んで使う。
- **that** よりも限定力が弱い **who** や **which** は、とくにコンマ（,）が前に付くと限定力がさらに弱まり、関係代名詞以降の節は、先行詞を単に補足説明する役割になる。
- コンマが付く用法を〈継続用法（非制限用法）〉、付かない用法を〈限定用法（制限用法）〉という。
- **that** は限定力が強いので、継続用法には使わない（つまり×〈コンマ + **that**〉となることはない）。
- I have a sister **who/that** manages a restaurant.
「私にはレストランを経営する姉（妹）がいる。」
※ **who** 以降が a sister を絞り込む限定用法。姉（妹）が他にいるかどうかはわからない。
- I have a sister, **who** manages a restaurant.
「私には姉（妹）が1人いるが、彼女はレストランを経営している。」
※ 〈コンマ + **who**〉以降が a sister を補足説明する継続用法。姉（妹）は1人。
- I have two sisters, one of **whom** manages a restaurant.
「私には姉（妹）が2人いるが、そのうちの1人はレストランを経営している。」
※ 継続用法で、姉（妹）は2人。
whom は前置詞 of の目的語で、先行詞は two sisters (= them)。
- 継続用法では、先行詞は名詞に限らず、直前の内容全体や一部のことがある。
- He said he wouldn't study hard for the test, **which** I don't believe.
「彼はテストのためにまじめに勉強するつもりはないと言ったが、私はそれを信じていない。」
※ 先行詞はコンマ以前の内容全体で、動詞 believe の目的語でもある。
- "I found my number!" "**Which** means?" "I passed!"
『私の番号があったよ！』『ということは（それが意味するのは）？』『合格したんだ！』
※ 2番目の発話の **Which** は、直前の相手の発話全体を先行詞とする関係代名詞の継続用法。

E 演習 4：基本問題 日本語に訳しなさい。

- My father, who has turned 38, is an expert in designing eyeglass frames.
「
」
- I have two brothers, both of whom have taken over our father's company.
「
」
- We visited Sagrada Familia, which is one of the best tourist spots in Spain.
「
」
- You always keep your promises, which is really good.
「
」

演習 4：解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- 「私の父は、38歳になったが、眼鏡フレームを設計する専門家だ。」※「私の父」はすでに限定されている（1人しかいない）ので、コンマを伴う継続用法で追加説明する。コンマで挟むことで説明を挿入している形。
- 「私には兄弟が2人いるが、どちらも父の会社を継いでいる。」※関係代名詞の目的格 **whom** は、two brothers を先行詞とする前置詞 of の目的語。継続用法。
- 「私たちはサグラダ・ファミリアを訪れたが、それはスペインで最高の観光地の1つである。」※地名や人名を表す〈固有名詞〉は、すでに唯一のものとして限定されているので、関係代名詞は継続用法を使うのが原則。
- 「あなたはいつも約束を守るが、それは本当に素晴らしいことだ。」※コンマ以前の内容を先行詞とする、継続用法の関係代名詞 **which**。

解説 5

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- 先行詞が the only, every, all などの語句や、最上級・助数詞（first, second など）を含むことで、範囲を限定する必要性がとくに高いとき、関係代名詞は原則として that を用いる。
- the first company **that** invented the motor car 「自動車を最初に発明した会社」（主格）
※ 「何の」最初の会社なのかを限定する必要がある。以下、同じ考え方。
- the only friend (**that**) I can trust 「私が信じられるただひとりの友人」（目的格、省略可）
- all (**that**) you want 「あなたがほしいものすべて」（目的格、省略可）
- everything **that** is available 「入手可能なものすべて」（主格）
- 関係代名詞の〈所有格〉は、先行詞が人でも人以外でも、whose で表す。
- the girl **whose** father is an accountant 「父親が会計士の少女」
※ The girl's father is an accountant. 「その少女の父親は会計士だ。」という文を、名詞 the girl を先行詞とする名詞節に変換したもの。
- the country **whose** official language is English 「公用語が英語の国」

F 演習 5：基本問題 日本語に訳しなさい。

1. The only thing that she said was "I don't know."
「
」
2. I'd like to say thank you to all that have supported me.
「
」
3. The most expensive thing I bought for myself is this watch.
「
」
4. All you have to do is do what you think is right.
「
」
5. I have a friend whose friend belongs to a popular idol group.
「
」

演習 5：解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. 「彼女が言った唯一のことは『わかりません』だった。」
※ the only thing は目的格（said の目的語）の関係代名詞 that の先行詞。that は省略できる。
2. 「私を支えてくれたすべてにありがとうと言わせてほしい。」 ※ that は all を先行詞とする主格の関係代名詞。would like は〈依頼〉を表す。
3. 「私が自分で買った一番高価なものはこの腕時計だ。」
※ I bought の前に関係代名詞目的格 that の省略。
4. 「あなたがしなくてはならないことは、あなたが正しいと思ったことだけだ（→あなたは自分が正しいと思ったこと
だけすればよい）。」 ※ All の直後に関係代名詞目的格の that の省略。文の動詞は is で、続く do の前に to が省略されていると考える（to 不定詞の名詞的用法）。what は先行詞を要さない関係代名詞で、what is right で「正しいこと」の意味。これに you think 「あなたが思う」が挿入されていると考える（〈連鎖関係代名詞〉という）。
5. 「私には、その友人が人気のアイドルグループに属している友人がいる（友人の友人がアイドルだということ）。」
※ whose は最初の a friend（自分の友人）の所有格を表す関係代名詞。

年 組 番 氏名

実施日 年 月 日

E	/4
F	/5

検印